

2021年度事業報告

基本姿勢

① 自治体をサポート

NPO ブックスタートの取り組みの中心は、自治体におけるブックスタート事業の実施と充実につながるサポート（ブックスタート・パックの販売業務および研修や情報提供など）です。コロナ禍で従来通りに事業を実施できない状況が各地で続く中、2021年度は、自治体や携わるスタッフを、実務面と気持ちの面で支えられるよう取り組みを行いました。

●新たな取り組み：自治体向け資料の拡充、オンライン研修会開催など

② 社会への発信と関係構築

ブックスタート事業及びシェアブックスへの理解や関心が社会全体で高まるよう、媒体等への情報発信に努めました。また、様々な分野との関係性を深め、具体的な協力を得ることで、各企画の充実を目指しました。社会での認知度を上げることで、ブックスタートが大切な行政事業という認識が高まり、①のサポート事業充実や普及率向上にも結び付きます。

●新たな取り組み：ウェブサイトリニューアル、書籍『ブックスタートの20年』刊行など

ブックスタート実施自治体数 **1,092** 市区町村 → P8: 全国の実施自治体一覧

全自治体数 1,741 / 普及率 62.7% (2022年3月末)

		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ブックスタート	自治体数	36	319	572	650	571	598	635	685	705	752	806	834	866	902	946	986	1,025	1,036	1,051	1,066	1,092
	普及率 %	1.0%	10.0%	18.0%	26.0%	31.0%	33.0%	35.0%	38.0%	40.0%	43.0%	46.0%	48.0%	50.0%	51.8%	54.3%	56.6%	58.9%	59.5%	60.4%	61.2%	62.7%
全国	自治体数	3,246	3,235	3,155	2,544	1,844	1,827	1,816	1,800	1,750	1,750	1,742	1,742	1,742	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741
	年間出生数* 万人	118.2	116.5	113.5	112.2	107.4	110.5	110.3	110.5	108.2	108.4	106.2	105.1	104.3	101.9	102.0	99.4	96.3	93.5	88.4	86.0	84.3

*年間出生数: 日本における日本人+日本における外国人。2021年は速報値のため、海外における日本人も含まれます。

2021年度の取り組み

01 | 自治体への情報提供

自治体からの問い合わせ・相談対応／資料提供

- 「ブックスタート」に関する市区町村からの問い合わせ・相談に対応。
- 事業実施をサポートする各種資料を無料で提供。
(ニュースレター、ハンドブック、当NPO刊行の書籍、視覚障害／外国語が母語の対象者向け資料など)

実施自治体に関する情報収集／取材・見学

- 実施自治体から、年1回、実施状況に関する回答を受領し集計。
- 取材見学訪問 (計2件): 東京都立川市、福島県大熊町*。
*取材した内容は、Yahoo!ニュース (2022.3.30) 「日本中の赤ちゃんに絵本を！／読みきかせも一緒20年で786万人に贈る」に掲載。

障害のある対象者、外国語を母語とする対象者を想定した資料や情報の提供

- 点字／拡大文字版および多言語対応版の資料を提供。

都道府県・国への情報発信

- 都道府県の図書館・教育委員会・子育て支援・母子保健の担当者へ情報提供。
- 厚生労働省「母子手帳等に関する意見を聴く会」に協力。
- 内閣府子ども・子育て本部の取り組み「家族の日」「家族の週間」に協力。

▼自治体向け新資料



- 左 ブックスタート事業における感染症対策ガイドライン 監修：榊原洋一氏（小児科医・NPO ブックスタート理事）
- 中 ブックスタートでの読みきかせ～share booksの楽しさを伝えるコツ
協力：児玉ひろ美氏（読書アドバイザー・司書）代田知子氏（司書・NPO ブックスタート理事）
- 右 20周年記念ポスター／全国でブックスタートに携わる人たちへの感謝を込めて作成。「20」の文字は、自治体職員やボランティアの方々の言葉で形づくられている。

02 | 自治体向けに研修実施

全国研修会を開催（オンライン・NPO ブックスタート主催）

●プログラム

講演 地域で育もう、子どもと家族！～社会の宝物を預かる私たち～

講師 三石知左子氏

（東京かつしか赤十字母子医療センター院長・小児科医・NPO ブックスタート理事）

NPO ブックスタートからの 報告・事例紹介

読みきかせの体験と絵本のプレゼントがもたらすもの／コロナ禍のブックスタート

ライブ配信 2021年11月25日（事前申込み数 約800件）

見逃し配信 12月2日～24日

- 2022年度 ▶ 11月にオンラインにて開催予定。ブックスタートに関するプログラムのほか、伊藤明美氏（保育園図書顧問・司書）の講演と2自治体による事例発表で構成。



各自治体の研修会に協力

- 職員派遣（計6件）およびオンライン実施（計10件）。

03 | ブックスタート・パックの販売

絵本や各種アイテムを自治体向けに販売

- 自治体からの注文に基づき、絵本やバッグ、保護者向けの冊子などを販売。
- 視覚に障害のある対象者からの希望に応じて、てんやく絵本への交換対応（無料）。



04 | 社会に向けた広報活動

ウェブサイトをリニューアル

- ブックスタートやNPOの事業を、よりわかりやすく伝えるため、内容やサイト構造を全面的に見直し。

<https://www.bookstart.or.jp/> ▶



書籍発行

- 『ブックスタートの20年 自治体と市民が赤ちゃんの幸せのためにつながり 実現してきたこと』

編者 NPO ブックスタート

監修 大日向雅美（恵泉女学園大学学長、特非あい・ぼーとステーション代表理事）

代田知子（公共図書館館長、司書、一般社団法人日本子どもの本研究会会長）

寄稿 ピーター・ジェンキンス（英国ブックトラスト）、村木厚子（元厚生労働省事務次官）

造本 A5版、並製、248ページ

価格 本体価格 1,000円＋税（初版部数 3,300部）



角丸製本



口絵写真

6	5	4	3	2	1
世界と日本 207	赤ちゃんと保護者 191	地域づくり 135	母子保健 子育て 111	図書館 61	行政 21

もくじ

- 『絵本は心のへその緒』（松居直 著）
中国語（簡体字）版発行。（南京大学出版社、唐亜明 訳、初版部数 6,000部）

各種媒体・SNSを通じた情報発信・リリース配信／取材・問い合わせ対応

- 原稿執筆、取材対応、リリース配信（新聞、専門誌、業界紙、読書関連団体など）、メールニュース送信（年4回・送付数約1,200件／回）。
- 授業でブックスタートを紹介（東京学芸大学附属世田谷中学校家庭科授業）
- 講師派遣：東京大学 Cedep × ポプラ社共同研究プロジェクトオンラインセミナー／スギヤマカナヨさんデビュー 30周年記念トークイベント／絵本図書館ネットワーク主催シンポジウム／一般社団法人の組織内講演会

「いっしょにえほん」プロジェクト

- 社会にシェアブックスを広める企画として、定期的に Instagram にて写真を投稿。
- 2022年度 ▶ 4～5月に、第1回いっしょにえほん写真コンテストを実施。

@ bookstart_japan ▶



「子ども・社会を考える」プロジェクト

- 講演会をオンラインで開催

講演 つながりあう力～公民協働で社会をつくる～

講師 村木厚子氏（元厚生労働省事務次官・津田塾大学客員教授）

聞き手 吉田明世氏（保育士・絵本専門士・フリーアナウンサー）

配信会場提供 ポプラ社

ライブ配信 2022年2月5日（事前申込み数約300件）

見逃し配信 2月10日～28日



グローバルネットワークに参加。海外の情報収集と日本の経験を発信

- 世界の25団体が定期的に情報共有を行う「Global Network for Early Years Bookgifting」にコアメンバーとして参加。
- 既刊『「ブックスタートがもたらすもの」に関する研究レポート』（編集協力 秋田喜代美氏、佐々木宏子氏）の英訳版（訳者 宇田川エイヴリ氏）をウェブサイトで公開。

05 | 調査研究

「赤ちゃんへの絵本贈呈事業」に関する全国調査

- 2020年度から開始した全国調査の第2回目を実施。
- 約8割の自治体で、赤ちゃんに絵本を贈呈する事業を実施している実態を把握し、ウェブサイトで公開。